



和 ～心をつなぐ～

令和6年6月3日
第2号

挨拶

人は社会の中で生活をし、誰かとつながりを持ち生活をしています。
今回は新聞の投書欄に寄せられた声をもとに挨拶や礼儀について考えました。【※ 裏面：放送内容】



☆ 1年生 ☆

- 挨拶や返事は1日を楽しく過ごすために絶対に必要なことだと思います。地域の方やお世話になっている人と会ったら、積極的に挨拶をしていきたいです。
- 私は普段、挨拶ができていたと思っていただけ、お店や病院では意外とできていませんでした。意識して、いろいろなところで挨拶ができるようにしたいです。
- 人間関係をよくするために、挨拶や返事だけでなく、言葉遣いにも気をつけて、人と関わりたい。
- 当たり前なことでも、当たり前にするというのはすごいことだとわかりました。これからはしっかりと挨拶をするだけでなく、大人になっても挨拶を忘れないようにします。

☆ 2年生 ☆

- 挨拶の意味を知り、挨拶は一人一人の積極性が大切だと思った。
- 地域の人に挨拶をしているけれど、声が聞こえなくて挨拶を返していない人もいたので、相手に聞こえるくらいで挨拶をすることを心がけようと思います。
- こちらから挨拶をしても無視や知らんぷりをされると、たとえ社交辞令であっても少し悲しい気持ちになります。コンビニの会計の後の「ありがとう」など何気なく、でもきちんと意味をもって誰かに礼儀を表すことの大切さがわかりました。

☆ 3年生 ☆

- 母親がよくお礼や挨拶をする人だから、聞き慣れているだけかもしれないが、確かに自分たち以外にお礼を言う人は少ないと思う。自分も母を見習い、お礼を言っていきたい。
- 挨拶はコミュニケーションのきっかけになるだけでなく、挨拶によって雰囲気を変えることが大切だと思いました。
- 気持ちの良い挨拶や返事を積極的に実践できるようにしたいです。
- 十人中、一人が二人しか挨拶をしていないということに驚いた。挨拶は当たり前だと思う。

最近、外出して気になることがあります。それは「返事」についてです。私はキヨスクで買い物をすることが時々あります。その際、必ず、お店の人に「どうもありがとう」と、お礼を言います。

以前、お礼を言う人はどれくらいいるのか、キヨスクの店員に聞いたところ、「十人中、一人か二人です。」とのことでした。「たとえご返事がなくても、もう慣れました」と笑顔で答えてくれました。

近くの病院の待合室でも全く同じ状況です。こちらが、「おはようございます」と言っても、知らんぷりの人が多いのです。患者が名前を呼ばれ、「はい」という人はごくまれです。返事をするのは礼儀です。診察を終えて受付で、「お世話になりました」と言って帰る人も少ないようです。

いつからこんな殺風景な世の中になってしまったのでしょうか。子供のころから、返事や挨拶をきちんと教えることが必要です。

挨拶の「挨」は心をおしひらく、「拶」はせまる、という意味だと聞きました。積極性がないといけないということです。返事や挨拶は人間関係の潤滑油です。

投書された内容は以上となります。5月は校外での活動を通して、学校外の人と関わる機会が多くありました。そのとき、返事や気持ちの良い挨拶はできていましたか。

挨拶はコミュニケーションのきっかけになるだけでなく、挨拶によって、雰囲気を変えることができます。また、返事はマナーやエチケットだからと形式的に行うのではなく、相手に対して敬意を表すものでもあります。このように挨拶や返事は、人と人とのコミュニケーションを円滑にし、信頼関係を築くための大切な手段といえます。

挨拶や返事について普段の行動を振り返るだけでなく、人間関係をよくするためにどんなことを心がけて生活していけばよいかも含めて感想に書きましょう。そして、早速、今日から気持ちの良い挨拶や返事を積極的に実践してみましょう。

☆ 保護者の方からの感想 ☆ 4月「目標を目指しやり抜く強い意志を」

- ・ 苦手なところを逆手にとっていく考え方は、選択肢を広げるよい発想です。それを実現する努力も素晴らしいと思います。
- ・ きちんとしなければならぬ、正しく進まなければならないというのは大切なことですが、人間は誰でも失敗をし、そこから学んでいくと思います。失敗してもまた立ち直れるたくましさも大切だと思います。
- ・ 松井秀喜さんの名前は「元大リーグ選手で大活躍した野球選手」という程度で知っていました。でも、この記事を読んで、こんなにも努力をした人とは知らず驚きました。大きな目標から小さな目標と段階を経て頑張っていくことは、これからの子供たちにはとても大切なことだと思います。一步ずつ、きっちりと階段を上っていくために、親子で頑張っていこう。
- ・ 部活動や受験に向けて早めに目標設定して、悩んだり迷ったりするときは、一旦立ち止まって「考える力」を身に付けてほしいです。
- ・ 中学校3年間は、あっという間に過ぎます。この3年間を松井秀喜さんのように、目標をめざしやり抜く意志をもち、計画的に日々考えて実践することができれば、それを中学卒業後にも本人の生き方として大きく成長させてくれると思います。初心を忘れず、自分を信じて常に考えることを忘れずに頑張ってください。途中困難 最後必勝！

(紙面の都合上、感想の一部のみ掲載しています。ご了承ください。)